

使用済燃料再処理機構 第36回運営委員会 議事概要

- 1 開催日時 2019年5月30日(木) 15:30~17:30
- 2 開催場所 使用済燃料再処理機構 会議室
- 3 出席委員 近藤駿介(委員長)、秋池玲子、塩越隆雄、徳植桂治、山口彰
出席理事 井上茂(理事長)、村永慶司、関口恭三、出光一哉、森中郁雄

4 議事の経過および結果

(1) 委員会の成立状況の確認

本日の運営委員会の出席者は10名であり、定款第11条第1項に定める運営委員会の成立要件である総数の過半数が出席しているので、本委員会が成立したことを確認した。

(2) 議案審議および自由討議

【決議事項】

第1号議案 抛出金単価決定の件

○事務局から、これまでの運営委員会における討議を踏まえた2018年度の特実用発電用原子炉の運転に伴って生じた使用済燃料の単位数量当たりの抛出金単価の決定に関する議案の説明がなされた。

○委員長が議案に対する賛否を議場に諮ったところ、原案に対して一部記載の適正化を図ることで、全員異議なく賛成し、決定された。

【報告事項】

a. 再処理事業等の事業費精査について

事務局から、日本原燃株式会社からの料金提案等に関する精査状況について報告を受け、自由討議を行った。

b. コンプライアンスの推進状況および業務情報の管理状況について

担当理事から、コンプライアンスの推進状況と業務情報の管理状況について報告を行った。それらの内容をもとに自由討議を行った結果、委員から、コンプライアンスの推進に関しては、目的を明確にするとともに機構の特殊性を踏まえた対策を実施すること、意識調査結果の深掘りを行うこと、業務情報の管理に関しては、情報セキュリティレベルの一層の向上に向けて継続的に対策を実施することとのコメントがなされ、事務局においてこれらの意見を踏まえた業務運営を行っていくこととした。

(3) その他

委員長は、議事概要に記名する者として、委員長の他、徳植委員および井上理事長の3名を指名したい旨を提案したところ、全員異議なく賛成した。

本運営委員会の議事の経過概要およびその結果を明確にするため本議事概要を作成し、前記3名は次のとおり記名押印する。

使用済燃料再処理機構
運営委員会

委員長 近藤 駿介 印

委員 徳植 桂治 印

理事長 井上 茂 印

以 上